

君津駅周辺まちづくりに係る検討状況について

建設部

1 これまでの取組

本市の玄関口である君津駅周辺は、都市交流拠点として都市計画マスタープランに位置付けており、活気あふれる新たな賑わいを創出するため検討を行っている。

令和5年度は、アンケートや事業者ヒアリング等のニーズ調査や、低未利用地・公共施設等の既存ストック調査などを行い、課題の整理や方向性を検討した。

2 令和6年度取組

令和6年度は、関係者が協議する場・組織の立ち上げに向け、まちづくりの機運を高める取り組みとして、広く参加者を集めたトークセッションやワークショップを開催した。

(1) トークセッション（参加61名）

目的：まちづくりの実践者の生のアイデアに触れることで、今後の展開や目指す姿を探る

テーマ：君津のまちの魅力をつくる・はぐくむ

内容：様々なエリアで活躍するまちづくりの実践者をゲストに、まちの魅力のつくりかたや育て方のアイデアを考える

(2) ワークショップ（参加13名）

目的：公民連携で取り組む君津駅周辺まちづくりの始動に向けたキックオフ

テーマ：これからの君津を考える

内容：君津駅周辺まちづくりの始動に向けた説明会

次年度以降の活動に向けたディスカッションテーマの設定

今後のキーワード：

ア 駅前活性化

マルシェやポップアップショップ等が開催できる環境づくり

イ 地域資源

農業・酒造・文化などを活用し山間部との接点を生むビジネスモデルの創出

ウ 公共空間

駅前市有地、ご線人道橋、駅前広場など公共空間を有効活用

エ コミュニティ

行政・市民・企業が連携する場・組織を設立し、継続的な実験と改善

3 今後の方向性

まちづくりの担い手発掘のためワークショップを継続して開催するとともに、方向性を協議する場・組織としてのプラットフォームの構築や、駅周辺まちづくりビジョンの策定を目指す。